

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

事務事業評価表（補助金等）

1 事業名	出会いの場創出事業負担金			事務事業コード	61110	
2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	社会福祉課	担当者	勝野哲矢
3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち			
		政策	福祉の充実	施策	地域福祉の推進	
		事務事業	出会いの場創出事業負担金			
		予算科目	地域福祉推進事業	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
	根拠法令等	なし				

●事業の内容（D0）

4 補助等の内容	* 補助金、負担金、交付金の具体的な内容		
① 性質	補助金	② 期間	平成27 年度 ~ 平成29 年度
補助金の種別	イベント等補助	③ 対象	公益法人
④ 制度の内容	婚活イベントの周知・PR用広告料に対して補助をする。		
⑤ 積算方法	広告料の実績により予算の範囲内で算出する。		
⑥ 期待される効果（最終的な意図）	各種新聞に広告を出すことにより、市民に対し、広く効率的にイベントを周知することができる。		

5 補助等の実績

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 件数（件）				
予算件数	2	2	2	0
実際の支出件数	2	2	2	
執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
② 金額（円）				
予算額	1,008,199	834,430	500,000	0
財源内訳				
一般財源	1,008,199	834,430	500,000	0
特定財源				
* 特定財源（負担割合）の説明				
実際の支出金額	1,008,199	834,430	500,000	
予算執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
支出額の前年度比		82.8%	59.9%	

③ 29年度の交付先

社会福祉法人岡谷市社会福祉協議会
一般財団法人諏訪湖勤労者福祉サービスセンター

●事業の評価 (CHECK)

6 妥当性評価		*妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。		妥当性 (1次判定)	
評価項目		はい	いいえ		
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1		5	
②	補助等の効果は広く市民に還元され、特定団体の既得権益にはなっていない。	1			
③	全ての対象者に交付している。	1			
④	補助等の基準を明確に定め、市民に周知している。	1			
⑤	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、補助等の内容に反映している。	1			
⑥~⑩は、補助金の対象が特定の団体に限定される場合に回答		妥当性 (2次判定)		高い	
⑥	補助対象団体では構成員に会費負担を求めており、自主財源を確保している。	1		5	10
⑦	補助対象団体の会計において、市の補助額を上回る繰越額は生じていない。	1			
⑧	補助対象団体の事務局は独立しており、市は事務的な支援を行っていない。	1			
⑨	補助対象団体の事業実績、決算状況を把握している。	1			
⑩	補助対象団体が補助金を目的どおり使用したか、用途を検証している。	1			

7 有効性評価		*有効性=成果指標 (項目7/住民の満足度) が向上しているか。		有効性		高い	
評価項目		はい	いいえ				
①	この補助金等が属する施策において、この補助金等の優先度が高い。	1					
②	補助等の目的が未達成で、今後も継続することで成果が向上する余地がある。	1					
③	他の方法と比べて、現金を直接給付する方法が最も効果的で低コストである。	1					
④	補助団体等において、市が補助等を行った目的が達成された。	1					
⑤	この事業の利用者が増加した。	補助・交付件数	前年度比				

●改善の内容 (ACTION)

8 具体的な課題と改善	
課題	(補助等の制度を有効に活用する上で、現在課題になっていること) 婚活イベントへの参加者がマンネリしないよう、新規参加者の開拓が必要である。
	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 婚活イベントへの参加を増やすために、広告料の補助だけではなく、婚活イベントとイベントにすら参加できない方に自信をつけさせる「ブラッシュアップセミナー」をセットで行うこととし、市が婚活イベントを委託し実施していく。
改善方法	
改善開始時期	平成30年4月

●次年度の計画 (PLAN)

9 次年度の方針	継続して実施
----------	--------